

令和 7 年（2025 年）産業連関表 第 2 回 推計グループ 議事概要

1 日 時 令和 8 年 5 月 29 日（金）13：00～15：00

2 場 所 総務省第二庁舎 4 階第 1 会議室 及び Web 会議

3 出席者

（座長）宮川構成員

（構成員等）菅構成員、田原構成員、小俣審議協力者

（関係府省庁）

総務省（政策統括官室）、総務省（統計局）、内閣府、金融庁、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

4 議 題

令和 7 年表に向けた基本的な大枠について

5 概 要

総務省（政策統括官室）から資料に基づき説明が行われ、その後、議論が行われた。

取りまとめにおいては、本日の議論を踏まえ今後具体的な検討を進めることとされた。

主な意見・論点については以下のとおり。

- ・ 基本価格表示表は令和 2 年表では参考表の扱いだったか。
 - 令和 2 年表では参考表扱いだったが、令和 7 年表では付帯表に格上げということで考えている。
 - 参考表と付帯表とではどう異なるのか。
 - 産業連関表は 10 府省庁の共同事業として作成するもので付帯表はその延長線上にあるもの、参考表は総務省（政策統括官室）が主体となって作成するものという位置付け。
 - 基本価格評価表は X 表のみか。
 - ご認識の通り。
- ・ 供給・使用表（SUT）、産業連関表（X 表）の部門設定について、計数調整をする際に細かすぎると困ると伺ったが、需要先を決める際は細かい方が容易な気がする。府省庁で実際に作業をされている方にご意見をお伺いしたい。
 - 細かく分かれていた方がいい面もあるが、他方で、細かく分かれていると計数調整を行う際に調整困難なセルが続出する可能性がある。
 - 計数調整する手前までなら細かくても良いが、計数調整する段階だと他セルとの間の調整しろが狭まって調整が難しくなるという認識で良いか。

- ご認識の通り。
- そのような集計・調整プロセスについて府省庁の間で共通認識を持ちつつ部門検討を進めていただくことが重要であると思う。
- 行を細分化することになるので、基本的には行側を担当している省庁の判断で、列側を担当する省庁とも相談しつつ、行の分割を行えばよいのではないか。
- 幅広に分割を検討しつつ、実現可能性を意識しながら最終的に決定するということになるかと思う。
- まずは行側の視点から可能な限り分割をしてみて、列側との兼ね合いを検討する段階で難しいようであれば各府省の調整で決めてください、ということか。
- ご認識の通り。
 - ・ 資料スライド4の「分割検討の視点」の「② 供給元（国内生産・輸入）が大きく相違するもの」についてはいかがか。
- この項目は、産業連関表は内生を中心にするので国内生産が縮小すると分類が統合されて、「その他」の部門に入ってしまう生産物がある。ただ国内需要としては大きく、輸入で賄っているような品目が「その他」の中で何があるかを見る、という趣旨である。輸出入部門は総務省が一括で担当しているが、最終需要は内閣府で担当しているので、その視点から各府省に対して部門分割の意見を出す可能性はある。

以上